

2024 年 11 月 6 日 全 7 頁

消費データブック（2024/11/6 号）

個社データ・業界統計・JCB 消費 NOW から消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

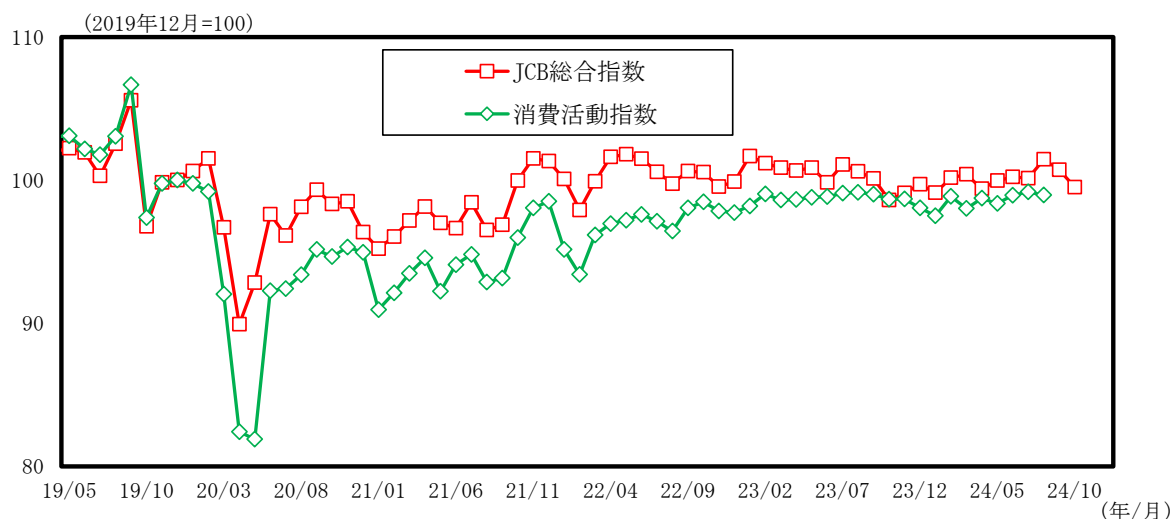
【要約】

- 2024 年 9 月の消費は 8 月から横ばい圏で推移したとみられる。財消費のうち、百貨店商品販売額とアパレル販売額はいずれも新型コロナウイルス感染拡大前の 19 年同月比で 8 月からマイナス幅が拡大した。他方、新車販売台数は 8 月から増加した（大和総研による季節調整値）。サービスのうち、宿泊者数と外食売上高の伸び率（19 年同月比）は 8 月から上昇した。
- 10 月の消費は 9 月から横ばい圏で推移したとみている。財消費のうち、百貨店大手 3 社の既存店売上高は 2019 年同月比で 9 月から伸び率が前月から上昇し、プラスに転じた。ただし、19 年 10 月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減で同年 10 月の水準が低かった点に留意が必要だ。アパレル大手 3 社のうち 2 社の既存店売上高は前月から伸び率が上昇した。新車販売台数は 2 カ月連続で増加した（大和総研による季節調整値）。サービス消費では、新幹線輸送量は 19 年同月比で 9 月から伸び率が上昇した。JCB が集計した宿泊消費額は 9 月から増加した一方、外食消費額は 9 月から減少した（いずれも大和総研による季節調整値）。

<消費全体の動き>

- ◆【JCB 総合指数】 24 年 10 月 の JCB 総合指数¹（大和総研による季節調整値）によると、実質消費額は前月比▲1.2%だった。内訳を見ると、財は前月から増加した一方、サービスが減少した。

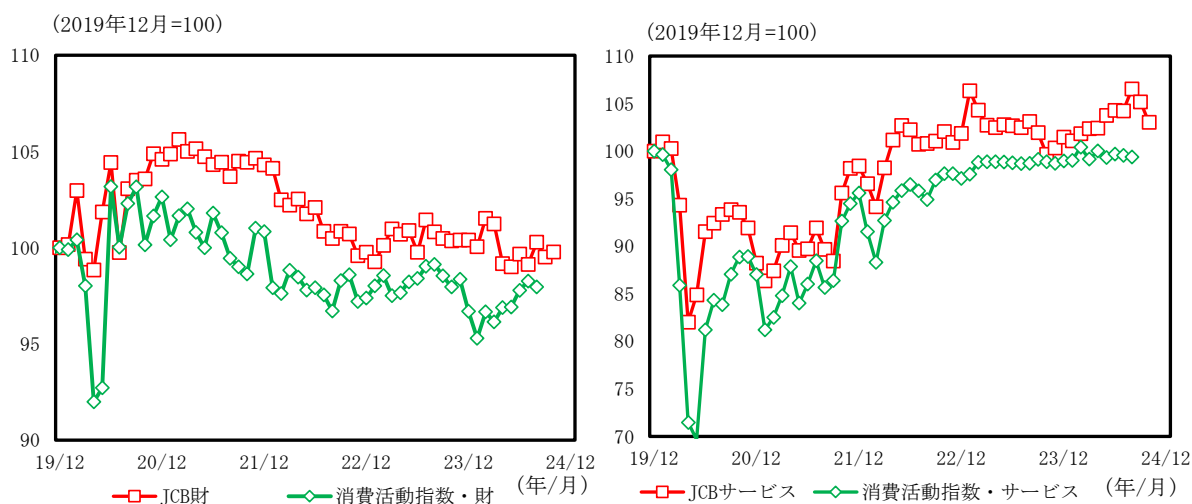
図表 1：消費活動指数・JCB 総合指数



（注）JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 10 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

（出所）日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



（注 1）JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24 年 10 月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

（注 2）財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

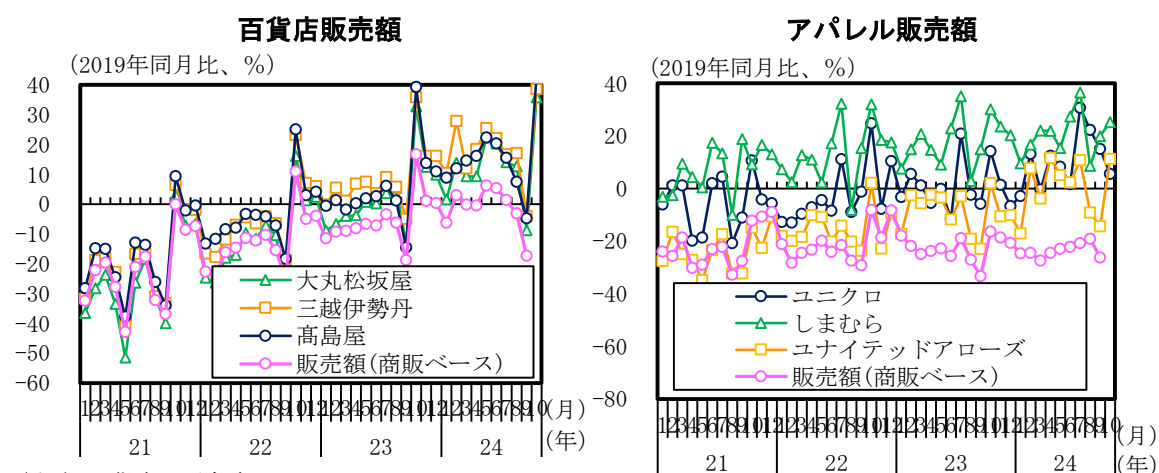
（出所）日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

¹ JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

＜小売関連＞

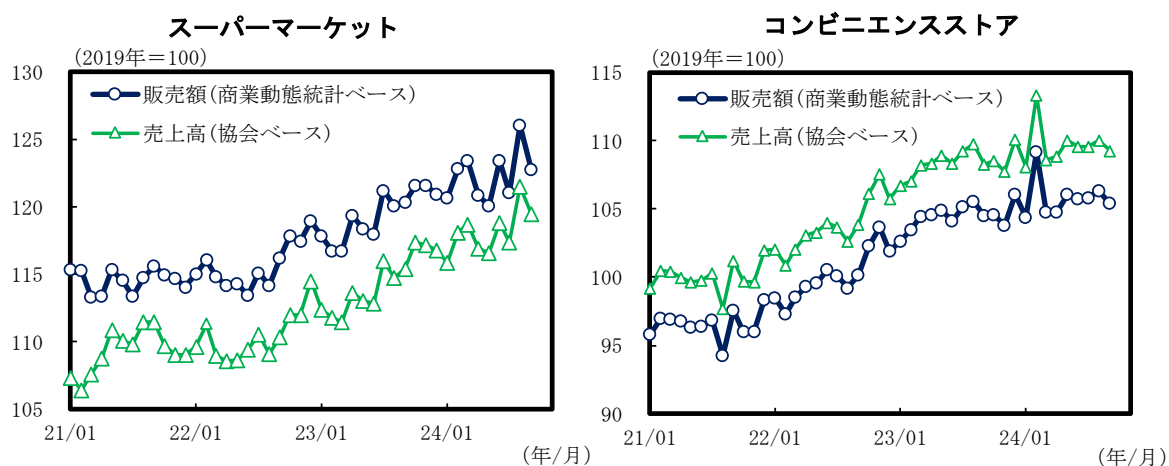
- ◆【百貨店】 24年9月の百貨店商品販売額（商販ベース）は、コロナ禍前の19年同月比でマイナス幅が前月から拡大。24年10月の百貨店大手3社の既存店売上高は同+36～+43%と伸び率が上昇。19年10月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減で同月の水準が低かった点に留意が必要だが、高額品や化粧品などの需要が高まった。
- ◆【アパレル】 24年9月のアパレル販売額（商販ベース）は19年同月比で前月からマイナス幅が拡大。24年10月のアパレル大手3社のうち2社の既存店売上高は前月から伸び率が上昇。高気温が続いたが、月後半には秋物衣料への需要が回復した。

図表3：百貨店・アパレルの販売額



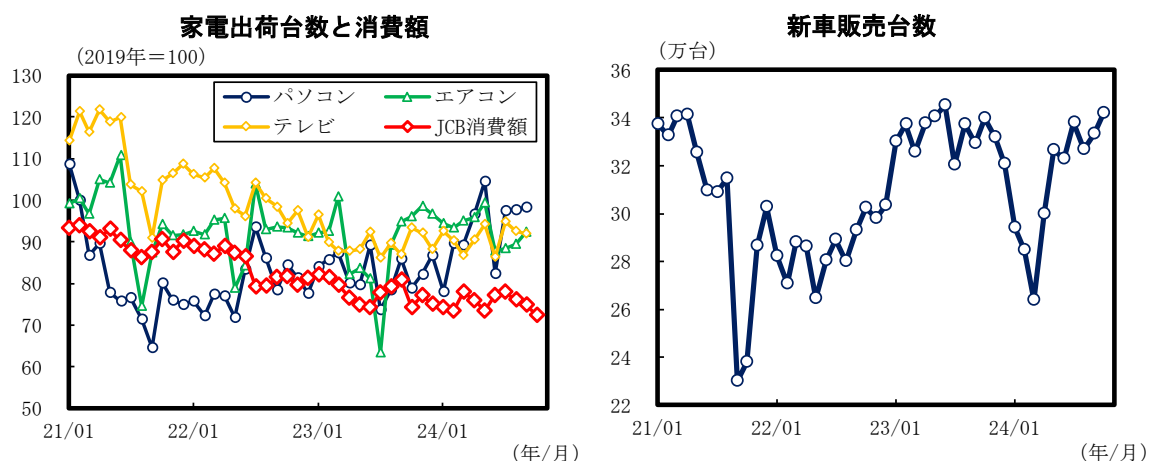
- ◆【スーパーマーケット】 24年9月の販売額は前月比▲2.6%（大和総研による季節調整値）。衣料品や飲食料品などの販売額が減少。
- ◆【コンビニエンスストア】 24年9月の販売額は前月比▲0.8%（大和総研による季節調整値）。加工食品や非食品などの販売額が減少。

図表4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高



- ◆【家電】24年9月の出荷台数はパソコンが前月比+0.7%、エアコンが同+3.3%、テレビが同▲0.7%（いずれも大和総研による季節調整値）。24年10月のJCB消費額（機械器具小売業）は同▲3.1%と3カ月連続で減少（大和総研による季節調整値）。
- ◆【自動車】24年9月の新車販売台数は前月比+1.9%（大和総研による季節調整値）。24年10月は同+2.7%と2カ月連続で増加。一部メーカーで生産体制の正常化が進んだことや挽回生産の進展によって持ち直しの動きが見られる。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



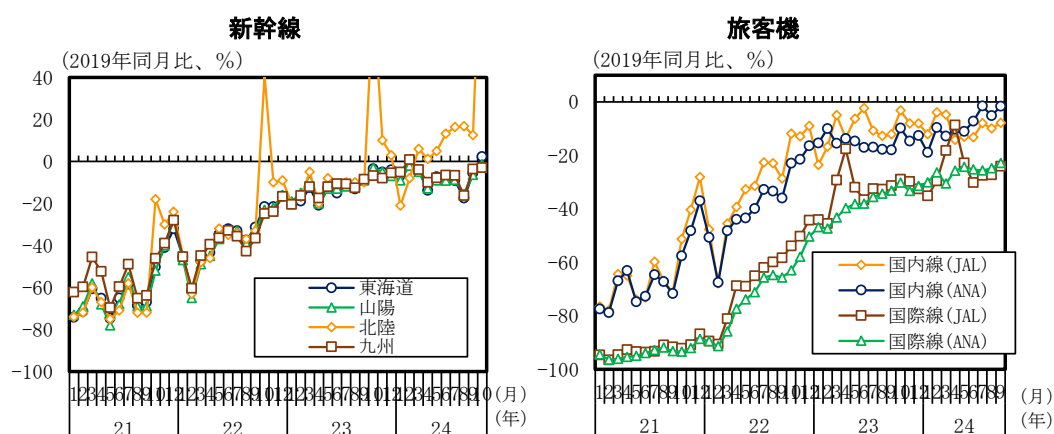
(注) 大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。24年10月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算（物価上昇分を調整）。

(出所) 電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<サービス関連>

- ◆【新幹線】24年9月の輸送量は19年同月比▲6～+13%程度。24年10月の輸送量は各社とも伸び率が上昇。北陸（同+125%）については、台風19号による浸水被害の影響で19年同月の水準が低かったことが原因とみられる。
- ◆【旅客機】24年9月の国内線輸送量は19年同月比で▲8～▲2%程度、国際線輸送量は同▲24～▲23%程度。堅調な観光需要を受け、航空各社は24年度下期の旅客便供給量の拡大を発表した²。

図表6：新幹線・旅客機の利用状況

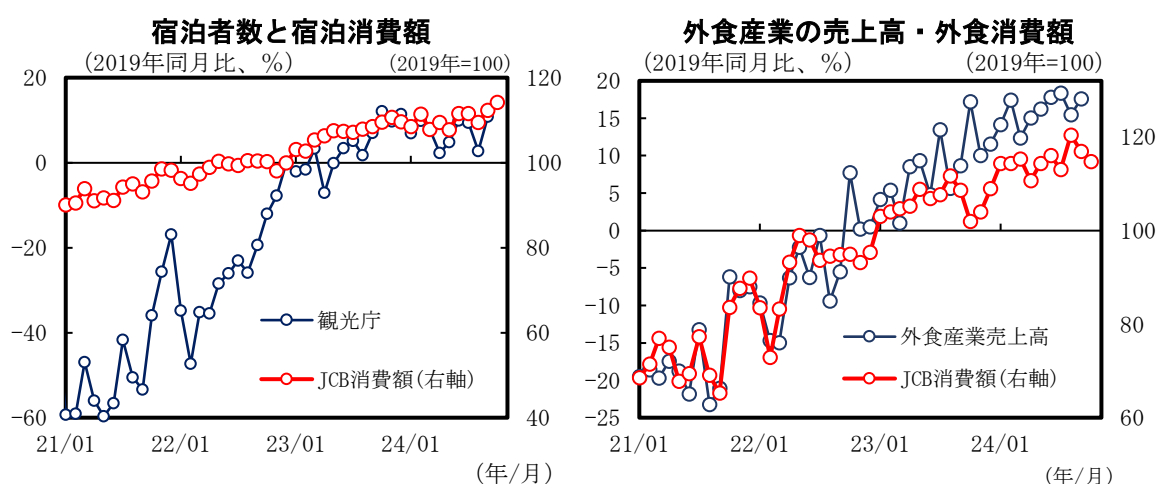


(注) 24年10月の東海道、山陽、北陸は28日、九州は21日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。

(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】24年9月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は19年同月比+10.9%と前月からプラス幅が拡大。24年10月のJCB宿泊消費額は前月比+1.6%。
- ◆【外食】24年9月の外食産業の売上高は19年同月比+17.6%と前月からプラス幅が拡大。24年10月のJCB外食消費額は前月比▲1.8%。

図表7：国内宿泊者数と関連消費額（左）、外食産業の売上高と関連消費額（右）



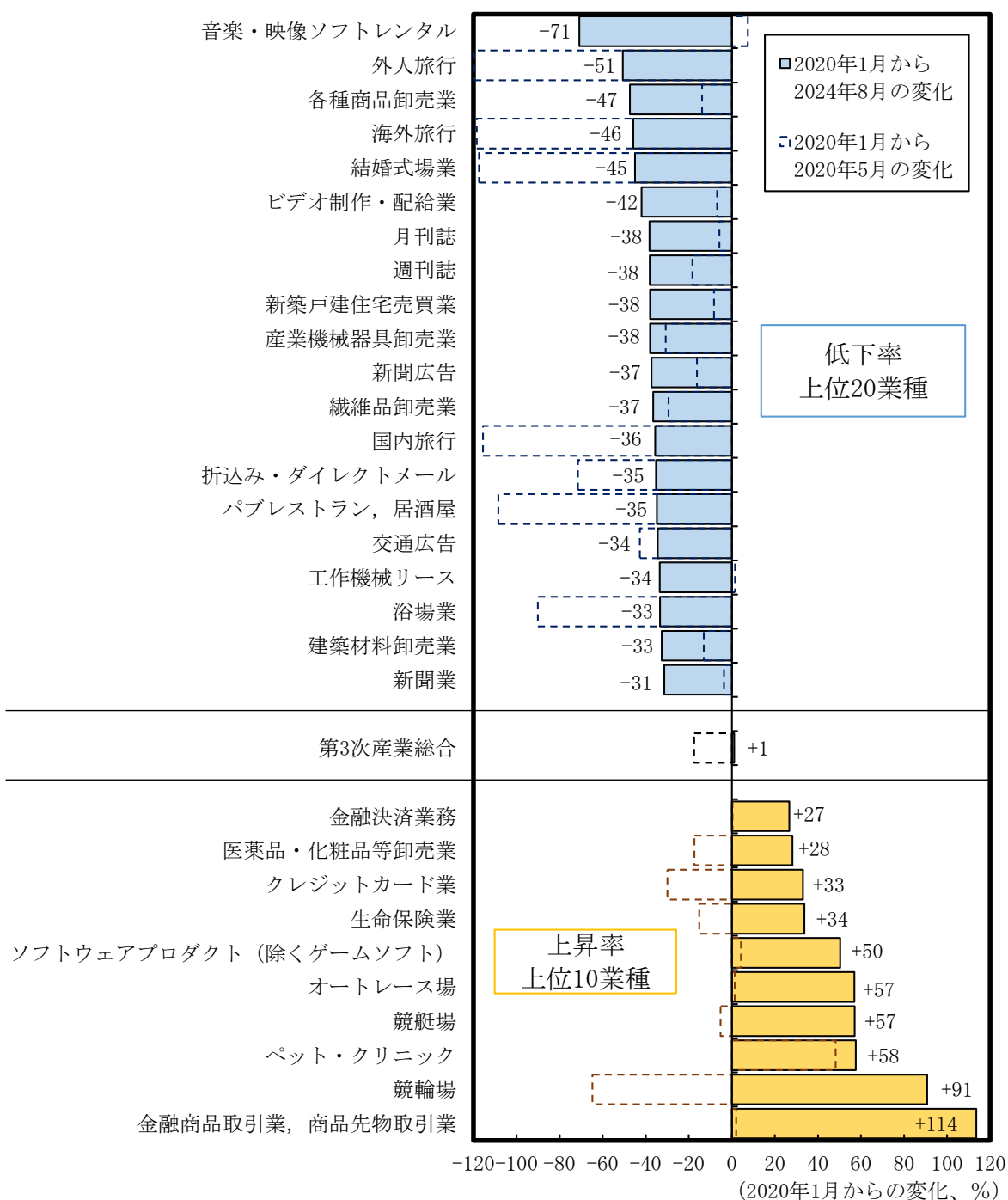
(注) 大和総研による季節調整値。24年10月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を試算。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

(出所) 観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

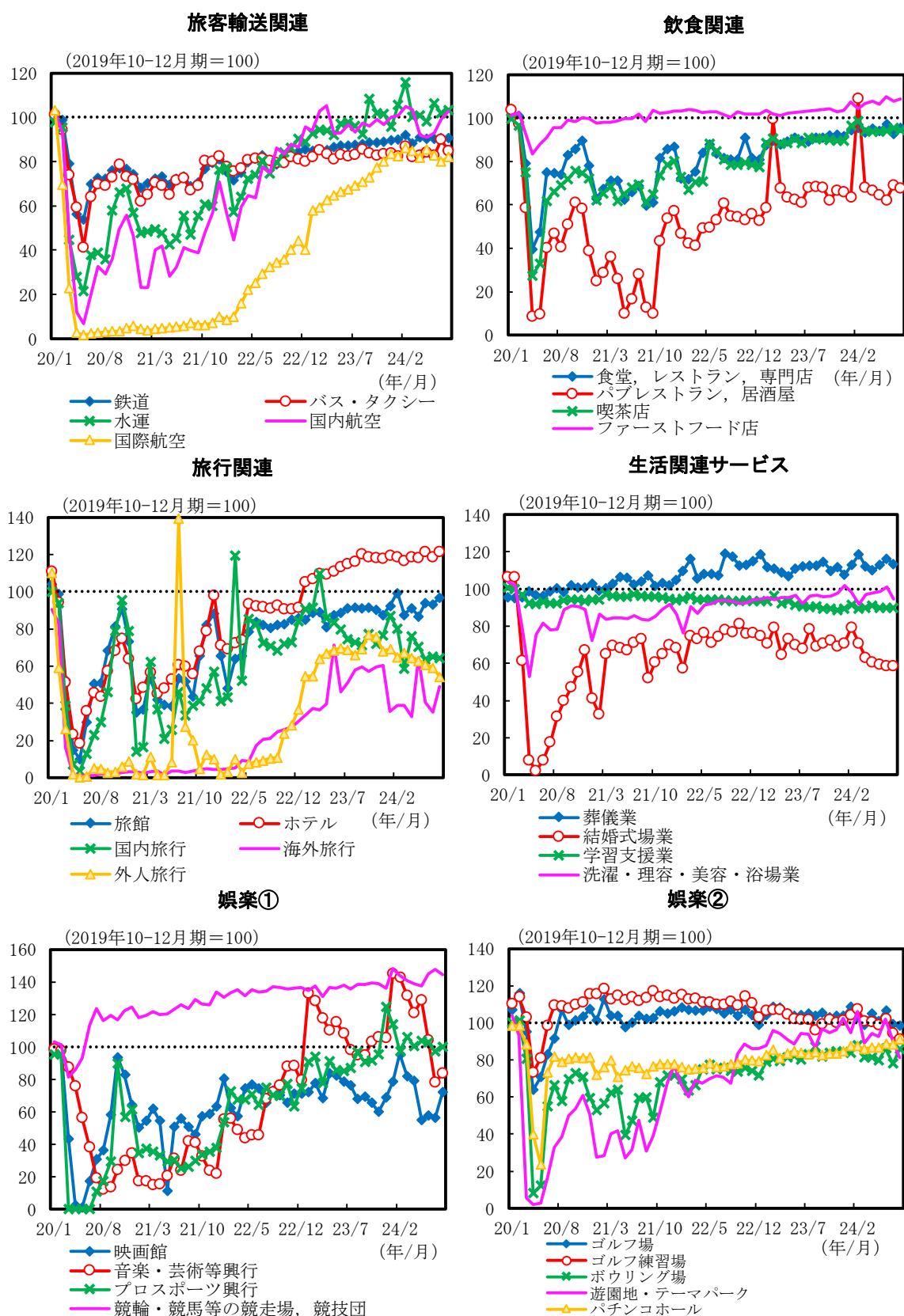
² JAL「[JAL、2024年度下期路線便数計画を決定](#)」（2024年8月20日）、ANA「[2024年度下期 ANA グループ航空輸送事業計画を一部変更](#)」（2024年8月20日）

＜参考：第3次産業活動指数＞

図表 8-1：第3次産業活動指数（2024年8月）



図表 8-2：運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成